

7月3日(土)午後2時 OB・OG感謝デー 高津高校に集まろう!



皆様の御支援に感謝申し上げます、7月3日(土)午後2時～5時、高津高校グラウンドに於いてOB・OG感謝デーを開催します。

- 皆さん、久しぶりに現役とのゲームを楽しんでみては如何ですか!
- 年配の方々には現役との混成チームでゲームを楽しんでもらう他、7mスロー大会など体に優しく・楽しい催しを企画しています!
- 軽い運動ができる服装をご持参ください。
- 子供さんは現役が面倒を見ますので、ご家族でご参加ください。
- 体育館が使用できないため、雨天中止とさせていただきます。

現役の活躍を携帯電話で読めるメールでお知らせしています。メーリングリストへの登録は御芳名と卒業期を kozu.handball.ob.og@gmail.com 宛にメールください。

OB・OGの近況をお便りください。ホームページ <http://kozu.handball.iinaa.net/> や会報に掲載する記事、OB・OG会へのご要望・ご意見など、ご連絡ください。また、ブログ <http://kozu-hand.blogspot.com> へ皆様の思い出・エピソードをご投稿ください。

総会・懇親会は、7月3日、6時、高津ガーデン(8階たかつ西)で開催します。

近鉄 上本町駅 北東へ徒歩3分 TEL 06-6768-3911 (天王寺区東高津町7-11)

2009年度 決算

2009/04/01～2010/03/31

繰越金収入	2008年度 繰越金	108,266
年会費収入	3000×74名	222,000
寄付金収入		234,510
総会費収入	7000×43名	301,000
総会費	2009年総会会場払	▲258,249
現役補助費	ボール等購入	▲110,050
会報費	印刷・発送費等	▲69,787
通信費	はがき 切手他	▲106,760
事務消耗費	用紙等事務用品	▲10,050
雑費	振込手数料, 壮行祝等	▲0
雑収入	懇親会費残・銀行利息	5050
差引残高	次年度繰越	315,934

会費納入・寄付金のお願い!

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費等を充実させるには寄付金も必要です。何卒、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2010年度 会費 3000円
又は 寄付金を納入して頂く方へ

同封の郵便振替用紙を使用頂くか
銀行振込をお願いします

2010年度
会費納入
郵便振替
用紙

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金NO.3999316口座名
「高津高校ハンドボール部OB・OG会
会長 川上貴司」

【振込人名】には卒業年度と
カイヒor キフを付記ください
※※※ 書き方例 ※※※
「高津太郎 コウ99キ
カイヒor キフ」

【事務局】〒542-0074
大阪市中央区千日前1-4-8
千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内
川上貴司
Tel.06-6213-1901
Fax.06-6213-4903
E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com

E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com



第6号

発行日 2010年5月1日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第6回 OB・OG会 総会 開催される



2009年7月4日 於 上六 高津ガーデン

本年(2010年)の感謝デーと総会は、7月3日(土)です

2009年 感謝デー・総会(第6回) スナップ写真集

OB・OG戦 この勇姿を御覧下さい!



昭和30年代中期第1期黄金期

毎年のOB・OG会で過去に大阪府第1位となった話が語り継がれていますが、今般私が持っている手元資料により、皆さんにこの辺りの情報をアーカイブス的にお伝えしてご記憶に留めていただきたいと思ひ投稿します。あえて第1期と銘打ったのは、この21世紀にできるだけ早い時期に第2期黄金期を創りあげてもらいたいという祈りがこもっているからです。

1. 昭和34年の大阪府大会での2回の優勝

昭和34年3月に「大阪府新人大会」で始めて優勝の栄冠に輝き、3位がベストの定位置の成績で、常にもう一息のところまで涙を流し続けていたハンドボール部の歴史上、初めて大阪府第1位を手に入れることができました。このように、昭和34年は、輝かしいスタートを切りました。この高津の新戦力がさらに力をつけて、続く5月5日に「大阪府民体育祭大会」で優勝を果たしました。その戦いの経過は、次のとおりです。

1回戦	高津 19 - 7 住吉高
2回戦	高津 10 - 2 佐野工高
3回戦	高津 8 - 7 豊中高
準決勝戦	高津 11 - 6 塚塚高
決勝戦	高津 12 6 - 7 9 三国ヶ丘高 6 - 2

省みますと、良くて3位が定位置の雌伏の数年間、夏期合宿や日常の練習において、榎本、津田（関学大）中江（同志社大）等の諸先輩が「地獄の特訓」的練習を我々に実施していただきました。特に、基礎練習という辛い足腰強の訓練（スロー・ダッシュを繰り返す時間の長いインターバルラン、兎跳び等）、それに加えて何回も繰返す実戦形式のフォーメーション訓練、これらは文字通り血の小便が出るような厳しいものでした。

しかし、結果としてこの基礎体力をつける基本訓練（地獄の特訓）の積み重ねが優勝という成果に結びついていったものと考えられます。

これらの猛烈な練習による我等の汗と涙は、高津高のグラウンドの土が十分に吸い込んでおり、また天はこの猛烈な努力を正当に評価してくれました。

2. 昭和34年近畿大会は悔しい第3位

5月の大阪府第1位で「近畿高校ハンドボール選手権大会」への出場権を得て、同月16日・17日の両日と歌山県開催の大会に出場することができました。

しかし、残念ながら強豪の兵庫県代表の兵庫工高（前年の昭和33年度全日本選手権大会第2位高）に準決勝戦でわずか1点差のビハインドで惜敗し、無念の第3位にとどまりました。



試合の経過は、次のとおりです。

1回戦	高津 16 - 10 市和商高 (和歌山第2位)
2回戦	高津 14 - 8 育英高 (奈良第1位)
準決勝戦	高津 9 5 - 6 10 兵庫工高 4 - 4 (兵庫第1位)

なお、我が高津に準決勝で勝利した兵庫工高は、同大会で優勝高となりました。この準決勝戦は、試合前からの雨上がりの悪コンディションのグラウンドで高津得意のドリブル攻撃が完全に封じられ、また前半試合開始直前のバックスの拙守により、この1点のビハインドを最後まで跳ね返すことができず惜敗の涙を流したのです。

3. 昭和34年 全日本選手権大阪大会で無念の第2位

同年6月21日の決勝戦において、ライバル高の三国ヶ丘高に先の府民大会での雪辱を無念の1点差で喫し、全日本選手権大会出場の内切符を逸しました。

その試合経過は、次のとおりです。

1回戦	高津シード校として不戦勝
2回戦	高津 8 - 3 堺工高
3回戦	高津 17 - 9 泉陽高
準決勝戦	高津 15 - 11 八尾高
決勝戦	高津 8 2 - 7 9 三国ヶ丘高 6 - 2



雨中の近畿大会での悪夢の覚めやらない折、またまた今回の決勝戦も雨中での試合となりました。試合開始前に大雨に見舞われ、小降りになってホイッスルが吹かれ、直前の雨でグラウンドはまさに田んぼ状態で試合が始まりました。近畿大会と同じく高津得意のドリブル攻撃が完全に封印されて、前半は苦戦でした。後半は、雨も上がりグラウンドもやや乾きだしたため得意のドリブルが効を奏して追い上げに全力を投じたのですが、時遅く後1点のところまで無残なゲームセットとなり惜敗の臍を噛みました。

雨天の悪条件のぬかるんだグラウンド対応の戦い方についての意識（ドリブル攻撃から短いパス攻撃への戦術転換）に欠けていたのも事実でしたが、同じ誤りの修正のための練習が身に付いていなかったのも事実で、これが同じパターンでの敗因の全てであったと思います。

昭和35年は、34年度の浅野、西原、生野等の強力3年生メンバーの卒業もあり、大きな成果を得ないまま、一つの黄金期が終了しました。

4. 昭和34年 大阪室内大会も第3位で涙

当時は、冬季については屋外の11人制から室内での7人制ハンドボールが一般的な時代であり、当然に11月頃からは、7人制の練習をしました。時々、他の部活から体育館を借りて室内仕様での練習をしました。

この大会については、手元資料がありませんが、この12月男子ハンドボール室内大会（冬季のみ実施）では、3年生が受験勉強ということもあり、善戦空しく定位置の第3位となりました。もし、どなたか関連資料をお持ちでしたら、OB会事務局にご提出ください。

5. 昭和37年 第14回全日本ハンドボール大会（高松宮杯）への出場

この年、社会人代表チームとして、当時高津OBの大学生、社会人の混合メンバーによる「高津クラブ」を結成して、先ず大阪大会予選に出場しました。大阪での予選大会を勝ち抜いていき、決勝戦で社会人チームの「丸紅飯田」に勝利して、高津初めての荣誉ある大阪代表になりました。

同年8月19日に高松宮ご夫妻を迎えて、山口県下松市・徳山市両市で男子25チーム、女子19チームの全国代表約600人が参加して開催されました。

我が高津クラブは、第1回戦に法政大学と試合しましたが、勝利の女神に見放されてしまいました。この全国大会に高津OBとして出場したという事実をご存知でない方も多くおられると思ひ、本誌にてお知らせしたいと考えました。

（なお、この全国大会に係わるデータ関係は、私の手元にありませんので、残念ながら詳細な経過をお知らせすることができません。もし、データをお持ちでしたら、ハンドボールOB会事務局にお届けください。）

6. 後記

今日、「三丁目の夕日」などの映画や各種テレビドラマなどで昭和30年代をテーマとして懐かしむ風潮がみられますが、この時代の流れの中で、アンティークな高津ハンドボール部の30年代の一端をお知らせしました。

第1期黄金時代は、上記のとおり竜頭蛇尾で終わりましたが、21世紀に第2期黄金時代を迎える日が一日も早く到来する祈りをこめて、この拙文を発表します。厳しい鍛錬と部員の努力の結集で大きな成果を生み出す実践をしたことは、高津ハンドボール部の歴史の中で価値有る輝きの一つとしてご記憶いただければ幸いです。

(高校13期 ビテクンこと 渡邊 齊顕)

*参考文献 高津高校PTA新聞(昭和35年2月24日号)、高津新聞(昭和35年6月号)、同(昭和35年7月号)、讀賣新聞(昭和37年8月20日号)

尾上 良宏 校長を訪ねて



2009年6月5日 於 母校校長室

昨年6月、着任早々の第20代 尾上 良宏 新校長を川上会長が表敬訪問され、ハンドボール部顧問の太田先生とともに、クラブ活動へのご支援をお願いしました。